

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日 ～ 令和8年2月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日 ～ 令和8年2月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月、個別支援計画書にある支援目標の進捗状況をまとめた月ごとの振り返り（モニタリング）を作成して、保護者や相談支援事業所に送付し発達状況を共有しています。	月ごとの振り返りを作成するのに、日々の支援記録を誰が読んでも分かりやすく客観的に理解できるように記録する工夫をしています。	
2	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	FC本部で共有してもらっている教材以外にも指導員が自作で教材を考案しています。	様々な情報をにアンテナをはり、その時々でお子さんに必要なトレーニングを提供できるように工夫して参ります。
3	保護者の方からの子育ての悩み等に応じ必要に応じて助言や支援を行っている。	モニタリングの機会だけでなくいつでも必要に応じて対応している。	引き続き相談しやすい雰囲気作りを行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の場が設けることができていない。	個人情報の観点から利用していることを公にしたい保護者の方も一定数いらっしゃるので控えていた。	今年度はイベントなどを開催して地域交流の機会を増やしていく計画である。
2	保護者向けのイベントや交流の場をあまり提供できていない。	ご要望が特になかったこともあり開催までには至らなかった。	講演会は6月に実施することができた。今後も吹田で活動されているキッズヨガの講師を招いたり子育てサークルの方と交流を持つ予定である。
3			